

室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう！

能「西宮」を謡おう！実行委員会（関係課：文化振興課）

事業費 588,811 円
助成額 300,000 円

●当初の課題・事業目的

西宮市が「住み続けたい街」として永く市民に愛される街になるためには、自分たちの街を再認識し、地域への愛着や誇りを感じる事が大切です。地域の文化や歴史に触れ、現在から未来への意識を高めることが必要であるとの思いから、現在は上演されていない能楽の演目「西宮」を掘り起こし、地域の名を冠した曲をテーマとした活動によって伝統文化や地域の歴史に親しみ知識を深める機会づくりを目的として開催しました。



代表 寺澤 幸祐

●事業概要

能の演目「西宮」をテーマとした能楽師の指導による謡ワークショップや、能「西宮」の謡と囃子での特別上演やストーリー語りのほか阪神間ゆかりの曲を様々な演能形式で上演する公演を開催。

【1】謡ワークショップ 1/28 西宮神社[プレ講座・一般対象講座/午前・午後]、

2/5 廣田神社[プレ講座・一般対象講座/午前・午後、子ども対象講座]全9回。

参加数：一般19名、子ども9名。参加費：一般500円、プレ講座と子ども対象講座は無料。

【2】公演「能「西宮」を聴こう！～阪神間ゆかりの能の曲～」 1/21 西宮市フレンテホール。

参加数：37名（招待4名含）。参加費：2000円。

【1】【2】吉井基晴、寺澤幸祐、久田陽春子（指導と出演）、沖けい（事業総括進行）。

【2】川邊暁美(アナウンサー)、斉藤敦(能楽笛方)、上野義雄(能楽太鼓方)、中田弘美(能楽太鼓方)、寺澤拓海。
令和2年度、3年度よりの継続事業。



●事業の成果・工夫した点

公演での能「西宮」は、過去の資料などを基に上演内容の充実をはかり囃子の入った形とし、音楽的にも「西宮」を楽しんでもらえる要素を高めた。公演・ワークショップともに曲と西宮の地名との関りをこれまで以上に詳しく紹介し、ストーリー紙芝居で昔の風景への想像を高めてもらうなど地域の歴史への興味関心を高め知識を深めてもらえる構成を心掛けた。

●苦勞した点・今後の課題

施設等での配架チラシや市の広報への掲載をして頂いたほか催しでの配布や SNS など告知に努めたが全体的に予定参加数に至ることができなかった。コロナ第8波やインフルエンザ流行の予測で参加を控える動きも大きかったかと思われるが、告知が年末年始を挟むなど状況に添っての広報検討が不十分点だった点も反省としたい。

●代表者の感想

最終年となる3年目の事業を無事に終了できました。アンケートの高評価や応援、今後の期待のお声なども頂き有難く思います。この活動が西宮への興味関心が広がる機会にもなれたのではと感じています。能「西宮」が地域の文化的宝物として多くの方に愛されるよう、今後も活動していきたいと思っております。